

実話

致死率99.9%の  
脳出血から生還!

3年半で大学卒業後  
25歳社長になった秘訣



香織

## 突然の脳出血・・・

---

あれ・・・？

これって夢だよな？

それにしても、この夢長くない？

今までこんなに長い夢あったっけ？

何だか現実のようだな・・・でも夢か。スースー

2009年の4月、総合病院の病室にいた私は、

あの世から無事に生還したが、

脳がやられて現実なのかよくわからない状態になっていた。

## ～致死率99.9%の大病～

---

高校3年生 卒業目の3月に受験のストレスで、ある日突然、致死率99.9%の脳室内出血を起こした。

その時は母が奇跡的に帰宅し、ベッド上で寝ながら嘔吐していた私を発見。

母は「重度のインフルかな？」と思ったそうだが、あまりにもぐったりしていて病院には連れていけないと思ったらしく救急車を呼んだ。

しかしインフルのはずなのに、娘の状態がおかしい！！

どんどん意識レベルが低下している。

そして救急車の中で

- ・意識不明の重体
- ・瞳孔反応なし
- ・呼吸困難

という瀕死状態になったそう。

総合病院に到着して、検査した結果、脳”室内”出血といって、脳の中心部分で出血しているとのこと。

脳室は”脳の幹”と書いて「脳幹」という人間の身体でも1番重要な部分のすぐ上にあるところだ。

テレビでたまに「芸能人がくも膜下出血で・・・」というニュースを見るがくも膜下というのは脳の外側で、致死率は50%らしい。

それに対して私は脳の中心で出血してしまったのだ！

一般的に脳幹や脳室で出血した場合、たった4～5時間で息を引き取るそう。

～母と知人ベテラン看護師のやりとり～

母：娘が脳室内出血したんだけど、後遺症とかがって大丈夫なの？

ベテラン看護師：ん～そもそも脳室内出血して生きてる人を見たことないから、わからない。。。

私の状態は

ICU(集中治療室)で10年働く看護師も見たことがないほど  
奇跡的な生還だった。

そして脳出血の原因は、AVM(※)であった。

※脳動静脈奇形といって、動脈と静脈が接続している異常な血管で  
血液の流れが早く、出血しやすい。

日本人の5～10万人の確率で先天的に存在する血管の奇形

緊急手術して何とか一命を取り留めたが脳出血後、  
約1か月間のことは今でも何も覚えておらず、

周囲の人曰く「自分の状況をわかっていない様子」だったとのこと。

こんな大病をしたらほとんどの人は

「自分は不幸だ。なんで自分だけこんな目にあわないといけないの？」と  
嘆くだろう。

でもそうやって自ら悲しい思考になって、何か好転するだろうか？  
決してしないと思う。

私は「脳出血して不幸」ではなく

「致死率99.9%の脳室内出血したのに、  
生きてるなんて奇跡！強運！ツイてる！」と  
喜んでいた。

このように同じ出来事でも、

”自分の解釈”次第で幸か不幸か？が決まる。

自分が幸せなのか？不幸なのか？を決めるのは  
すべて自分次第なのだ。

だから私は出来るだけ、物事のプラスの面を見るように心がけている。

それだけで人生が幸せになっていくから。

また奇跡的に一命をとりとめた後も

- ・ 歩行困難（車いす生活）
- ・ 重度の記憶障害（高次脳機能障害の一種）
- ・ 外斜視（黒目が正面を向かず、外側に離れている状態）

など、数々の後遺症が待ち構えていた。

最終的には緊急入院した総合病院で

脳を4回も手術した。

脳出血して1か月後には水頭症（すいとうしょう）という後遺症になり

脳内に器具を入れた関係で

激しい頭痛とおう吐を繰り返した。

そんな後遺症にも負けず、

嫌いな理学療法士のリハビリにもめげず

「自分は絶対に治る！」

という強いマインドでリハビリを続けた結果、

アノ大病からたったの2か月半で総合病院を退院できた。

## 大病の乗り越えたたった1つの秘訣とは？

---

たしかに致死率99.9%の脳室内出血をしたのに生きていたのは、奇跡だ。

だが、ここまで短期間で回復できたのは

- ・「絶対に治る！」という強いマインド
- ・「自分はツイてる！」と前向きにとらえる生き方

上記2点のおかげだと思う。

しかしまだまだ知能・運動機能ともに回復しておらず、

リハビリ専門の病院へ入院することに。

主治医には

「入院期間は3か月。今の状態で9月から大学に通うことは無理」と言われる。

(大学入学1か月前に脳出血したため、1年前期はいきなり休学していた)

しかし

「入院生活はつまらないから嫌！せっかく大学に合格できたのに、

9月から通えなかったら留年確定！そんなの絶対に無理！」

と強烈なネガティブパワーが生まれる。

そのパワーを活かしてリハビリした結果、たった1か月半で退院。

なんとか大学1年の9月から大学に通うことが出来た。

## 大学2年冬 高学歴ばかりのインターンへ

---

やっと大学の講義にも慣れ、  
体力が回復してきた大学2年の2月からアルバイトをすることにした。

その時、「インターンシップ」といって、  
学生が企業でビジネスを経験できる制度を運良く知った。

そしてインターンをしながら、  
同じ会社で事務バイトもできる都内のベンチャー企業で働くことに。

正直、そのベンチャー企業を選んだ理由は  
「レベル高い人多そうで、成長できそうだな〜♪」と軽く考えていた。

しかし・・・

初めてのインターン生同士の自己紹介で、  
自分は”間違った場所に足を踏み入れてしまった”ことに気がつく。

～自己紹介のシーン～

先輩らしきインターン生Aさん「”東京大学”法学部4年です」

隣に座ってるBくん「”慶應義塾大学”商学部2年です」

同時期入社のCくん「”早稲田大学”政治経済学部2年です」

私「に・に・にほ・・・日本大学商学部2年です」

(実際は平然を装ってサラッと自己紹介したが、  
内心、こんなとまどう気持ちであった)

そう、お気づきのように、インターンの環境は

超高学歴な ”日本最高頭脳集団” であった。

しかも、私以外は全員男！

つまり超高学歴男子学生集団の中に、

”日本大学の凡人女子”

が紛れ込んでしまったのだ！

「来る場所、間違えちゃった・・・」と思った。

学歴の差に衝撃を受けるも、なんとか平然を装って過ごそうとしていた。

ところがやはり日大（しかも大病により大学1年前期は休学）と東大早慶の知識量は雲泥の差。

インターン会議に出席しても、周りが話してる言葉の意味がわからない。

～インターン会議の様子～

Aさん「今週のKPIは・・・」

（私「KPIって何？」ノートにメモメモ）

B君「このSEO対策は・・・」

（私「SEOって何？」ノートにメモメモ）

といった具合に、やたらと皆、ビジネス（カタカナ）用語を使いたがる。

（特に外資系企業に就職希望の学生が多かったのも要因）

とりあえず私にとっての会議は完全に傍観者の立場で  
知らない用語をノートにメモし、帰宅後に調べるようにしていた。

高学歴インターン生は話している意味がわからないし、  
ずっと公立育ちの私とは違って、  
名門校育ち（中には高校生クイズでも有名な開成高校の人も）が多かったから、  
彼らのことは”宇宙人”だと思ふことにした。

だって宇宙人だと思えば、彼らと自分の能力が違いすぎて  
自分のセルフイメージを下げずに済むから。

「自分はダメだ」と思うことが1番ダメな思考で、  
その思考だからダメになるのである。



でも、高学歴の人たちから見た私は  
「何も理解できてない”いかにも日大のバカな奴”」に  
映ったのだろう。

一部のインターン生からは白い目で見られ、  
実際にそのような発言や態度があった。

例えば、  
東大院生（”経済”学部）「”商学”部って、勉強しているの？」  
私「マーケティングとか」  
東大院生「マーケティングって何？」  
私「えーっと・・・」

具体的にこたえられない私を  
白い目で見る東大院生と隣りにいた慶応ボーイ

慶応ボーイ「まあ、俺も商学部だけどねwww」と馬鹿にしてきた。

経済学部の東大院生は「商学部は何を勉強しているのか？」ではなく  
「”日本大学レベル”は何を勉強しているのか？」を聞いたかったのだと思う。

要するにイヤミだ。

さすがこういう状態が続くと

「もう皆についていけないし、辛い・・・。インターンやめようかな」  
と逃げ出したくなった。

でも、よく考えてみたら、ここで逃げたら  
彼らに「日大のバカ逃げたんだwww」と笑われるに違いない！

そんなの絶対に嫌だ！見返してやる！！

と思考を変えてみた。

とりあえず自分の自信を取り戻すべく、  
彼らを心の中で馬鹿にしてみた（笑）

「東京大学って規模小さすぎるw  
私なんて日本大学だしw  
東京は日本の1/47しかないじゃんw」 ※もはや意味不明

「慶応ボーイってバイトしてないくせに高級住宅街で一人暮らしなんて、  
世間知らず過ぎるw」 ※ただのヒガミ

要するに自分が勝てそうなことを無理やり探した（笑）

でも「自分はダメ」と思うのではなく、  
こうやって無理やりでも自分を大切に扱うことって大切。

だってそういう思考（マインド）があとあと、すべてを左右するから。

それにこういう場面で  
「高学歴の人たちは性格が悪い」と非難することは簡単だ。

しかし、非難したところで何も変わらない。

結局、バカにされるのは自分に原因があるのだ。  
自分が出来ないから、バカにされている。  
それなら出来るようになればいいだけの話である。

だから「どうすれば高学歴男子学生に認められるか？」を考えた。

## 天才宇宙人集団の中で”凡人の逆襲”

---

そこでまずは1番の差であるビジネスの知識量を埋めるために、ビジネス書を大量に読むようになった。

次に「ビジネスに詳しい人ばかりの環境」で、“どのようにすれば自分を役立たせられるか？”を考えてみた。

その結果、皆ビジネス面では点数に置き換えると平均90点だから、日大の私が力を入れる場ではないと考えた。

<組織内で自分の価値を見出す大切さ>

そこで気がついたのは、いくらインテリな人間とは言え、男性だけあって、部屋の掃除やメールのやりとりなど、細かいことが出来ていないことに気がついた。

そこで私は”皆がやらないこと”をやったのだ。

そうしたら周囲の見る目も変化してきた気がした。

同じ会社でインターンだけでなく、事務バイトもしていて大学生にも関わらずありがたいことに「意見が尊重される環境」であった。

そのため煩雑な業務を改善すべく、時給は発生しないが自宅で改善案をどんどん考えて、出勤時に上司に提案していった。その結果、担当していた仕事を大幅に改善でき、作業量の1/3は減らした。

時給で働くバイトだから自分の仕事を減らしたら、自分の給料が減ることになる。

でも、私は自分の給料が減ることよりも納得できない仕事のやり方を続けることのほうが嫌だった。

だから目先の利益を考えずに、長期目線で自分が成長できることに取り組んでいた。

そのために、自宅で仕事の改善案を試行錯誤して考えた。もちろんその時間の給料は出ないが、私は自分が納得できる仕事をしたかったのだ。

この思考（マインド）は本当に大切に、  
「収入の10倍の仕事をする」というマインドで取り組んでいると  
時差はあるものの本当にそうなる実感している。

また、インターン生のマネジメントとほぼ同時期に  
インターン制度を活用し、  
新サービスの立ち上げにもチャレンジした。

その新サービスのアイデアをひらめいたのは、  
インターンと並行して行っていたバイトでの事業であった。

入社当初は天才たちに「なんで最初はバイト中心で  
インターンは本腰じゃないの？」と言われていたが、  
そんな凡人の気持ちがわからない天才の意見は気にせず、  
自分の考えを大切にしながら頑張って良かった。  
※最初は本腰でなかった理由は、体力や休学分の単位取得、  
ビジネスの知識の少なさなどが要因

しかも新サービスを始めたのは、入社してから3か月も経っていない頃である。

私は天才たちに追いつくために、猛スピードで努力していたのだ。

入社前にはビジネスのことなんて  
大学の机上の空論レベルしかわからなかったが、  
某外資系企業で活躍していた社長から  
直々にビジネスを教えていただけて、圧倒的な成長をすることができた。

また、インターン生を管理していたキャリアウーマン（会社経営者）からも  
ビジネスについてたくさんアドバイスをいただきながら、  
競合分析、3C分析、SWOT分析など、さまざまなことに取り組んだ。

## 今につながるビジネスの経験

---

そして試行錯誤の末、  
入社後わずか半年で新サービスを立ち上げることが出来た。

そのサービスは既存事業から派生したもので、  
初月から売り上げられた。

またこのインターンの経験を活かして、ほぼ同時期に  
自宅でビジネス英語レベルの母と英語のサービスを立ち上げた。

インターン自体は報酬0である意味、ただ働きである。  
でも、私が取り組んでいたインターンは  
「学生から搾取するインターン」ではなく  
「最高の経験ができるインターン」であった。

実際に社長自らビジネスの勉強会を開いてくださって、  
実践的な学びを得ていた。

～長期目線で生きる大切さ～

もしかしたら「報酬が出ないインターンなんて頑張れない」という人もいるかもしれない。  
(場所によっては給料がもらえるインターンも有り)

でも目先の利益にとらわれず、  
出来ることはすべてやる精神で取り組んだ結果、  
インターンの経験は今の自分のビジネスにも大きな好影響を与えている。

たとえばインターン時代に母と立ち上げた英語のサービスは  
3年後に年商1000万円レベルに成長した。  
(現在は母が主導で運営中)

そして新サービスと同時期に、思いもよらない事件が起きた！

それは当時インターンリーダーをしていた一橋大学の人が、急に姿を消したのだ。

「このインターンは超高学歴ばかりだから、  
次のリーダーは東工大の院生Fさんか慶應の院生Oさんになるのだろうなあ」と  
予想していた。

ところが、なんとインターンを管理していた女性から

「香織さん、リーダーやってくれる？」と言われたのだ！

えっ?! 超高学歴×男子学生集団の中で、  
私のような日本大学×女子がリーダーやっていいの？

と思いつつも、東工大や慶應のエリート大学院生がいる中で  
自分がリーダーになれるなんて気分爽快すぎるので  
喜んでリーダーを努めた。

つまり入社時には”底辺”にいた日大の凡人が  
リーダーになって”頂点”へ上り詰めてしまったのだ！

しかも私のことを馬鹿にしていた東大院生と慶応ボーイは  
いつの間にかいなくなっていた。

リーダーになってからはインターン会議の進行も務め、  
「このSEOは～」 「私が立ち上げたサービスのKPIは～」と  
話している自分がいた。

そう、入社時には”意味不明”だと感じていたビジネス用語を  
使えるようになっていたのだ。

このインターンの10か月間は  
私の人生に最大の影響をもたらした。

なぜなら、インターンを始める前は  
「香織って冷めてるよね」と友達や家族によく言われるほど  
熱中することがない人生だった。

でも、インターンでビジネスを始めてからは  
「アツいね!」「エネルギーだね!」「好奇心旺盛」と  
いろいろな人に言われるほど性格が変わったのだ。

ビジネスに主体的に取り組んだことによって  
人生の生きがい、天職が見つかって本当に良かった。

それにインターンをやめたあとも  
お世話になった社長やインターンの先輩後輩同期が

1番多く就職する某外資系企業の人を引き寄せるようになり、  
今でも大きな恩恵を受けている。

大学卒業後は諸事情により、医療事務として勤務したが  
向かなさすぎてたった1年で退職したのだ。

23歳という若さではあったが、  
独立することを決めて、サイトアフィリエイトを始めた。

アフィリエイトは自分のペースで働けるから、  
大病して「もう無理はしたくない」と思っている私にとって最適である。

そして約2年後の2016年11月には株式会社を設立して  
代表取締役社長になり、  
今は毎日自由で楽しい人生を送っている。

しかも気がつけば、世界的にも有名な超一流企業  
(毎日、深夜まで働き、実力主義の過酷な環境)で働く  
インターンOBOGの収入を越していた！

要するに凡人でもやれば出来る！  
すべては行動次第、やるか？やらないか？である。

## キャリアアップに意欲的な女性へ

---

最後に・・・

私が脳出血で死にかけてから、約8年。

ここまでくるのに、本当にたくさんの人の支えがあった。

・ 高校の友人  
(千羽鶴のプレゼントや私だけの特別な卒業式の開催など  
本当に感謝してもしきれないほど、うれしかった)

・ 看護師や主治医

・ 毎日お見舞いに来てくれた家族

・ インターン時代の社長、憧れのキャリアウーマン、インターン生

・ ビジネスで出会った人たち

などなど・・・。

本当に多くの人との出会いがきっかけとなり、  
今の私は「常に成長し続け、自由で楽しい人生」を叶えることが出来た。

だから次は、私がきっかけとなって、  
誰かの人生をもっと幸せにできたらと思う。

そして何より、ビジネスで活躍する女性を増やしたい！

だって男性集団の中で一人ぼつんとビジネスに取り組むよりも、  
女性の仲間がいたほうが楽しいから ^^

そのためにキャリアアップに意欲的な女性のコミュニティを  
Facebookグループで運営することにした。

<参加条件>

- ・ 10代～30代
- ・ 女性
- ・ 現在での仕事のキャリアアップや副業、起業に興味がある



Facebookグループに参加希望の方は

私のFacebookへのメッセージを楽しみにしています^^

<https://www.facebook.com/kaorishappy>

脳出血の全貌ブログはこちら

<http://noshukketu.blog.fc2.com/>

【画像付き】電子書籍はこちら

<http://storys.jp/story/25102>